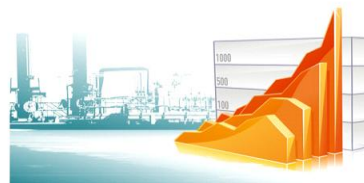


ぎふ経済レポート



令和8年5月分
岐阜県商工労働部

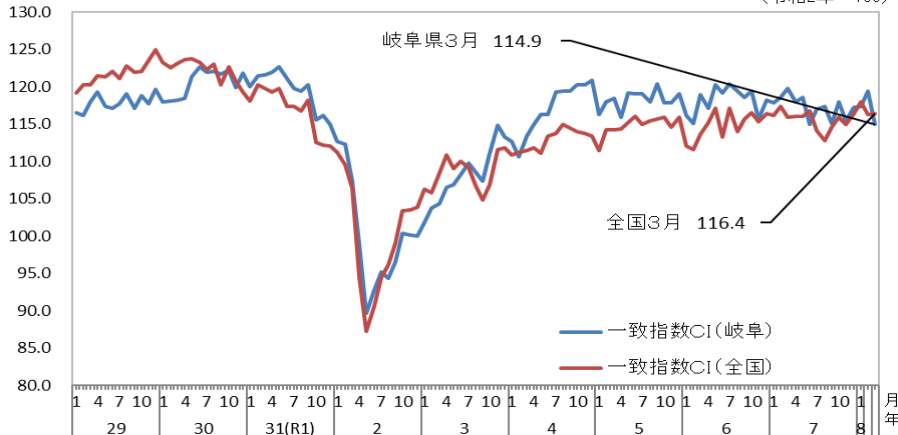
※企業等へのヒアリングは5月25日～27日を中心に実施し、6月23日時点で作成。

景気動向

○3月の景気動向指数(一致指数)は、114.9
で前月比▲4.5ポイント減少となった。
○4月の県内中小企業の景況感は、▲27.0で
前月比▲4.0ポイント減少となった。

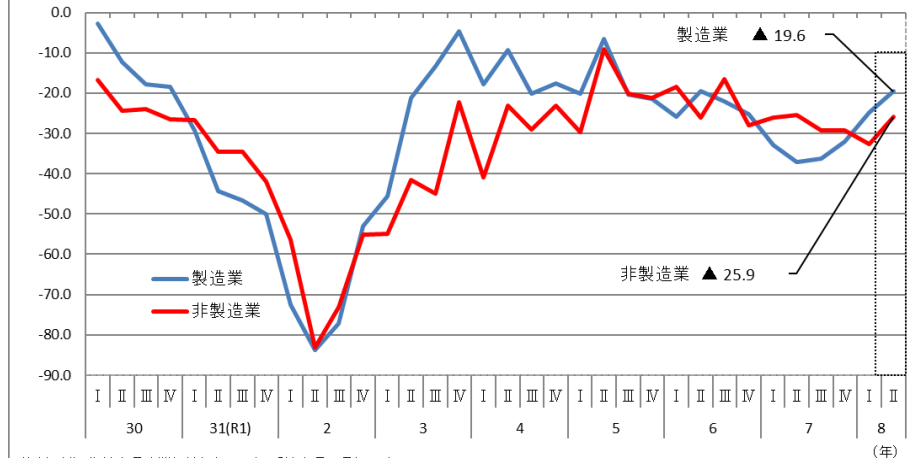
○4-6月期の景況DI実績は、製造業で前期比
5.1ポイント上昇、非製造業で6.7ポイント上
昇となった。売上高DI実績は、製造業で前期比
▲0.6ポイント、非製造業で同▲2.2ポイントと
なった。

岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移 (令和2年=100)



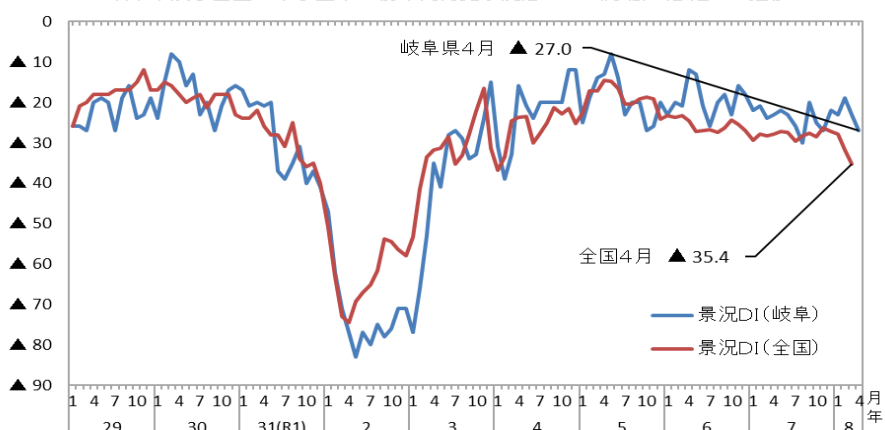
資料: 県統計課「岐阜県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



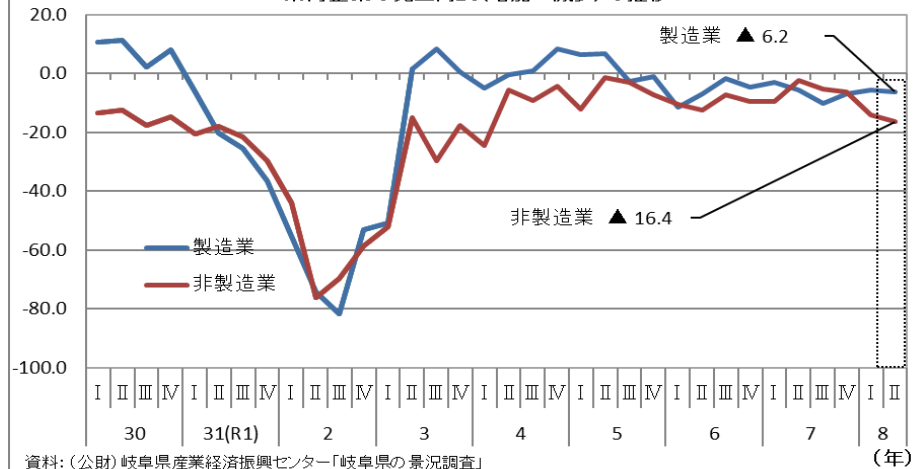
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」、全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

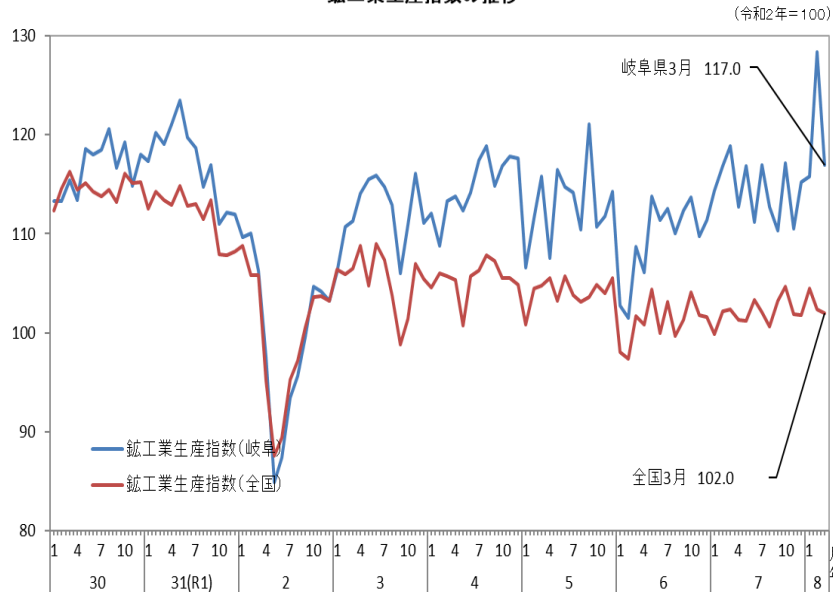
製造業

○3月の県内鉱工業生産指数(季節調整済)は、117.0で前月比▲8.9%と4か月ぶりに減少となった。

○3月の全国の鉱工業生産指数(季節調整済)は、102.0で前月比▲0.4%となった。

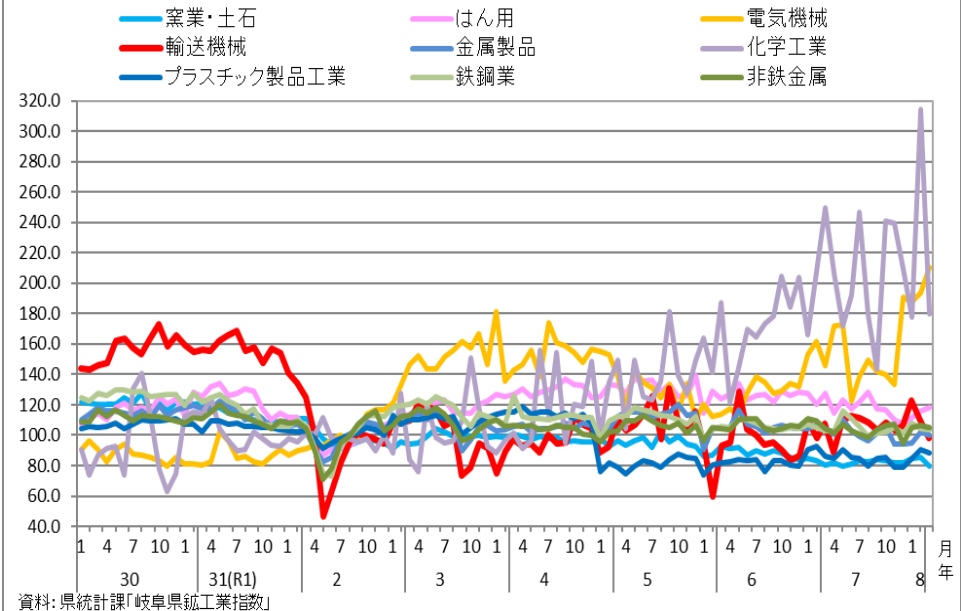
○3月の主な産業の指数は、電気機械で前月比8.7%、はん用で同1.9%上昇となった。一方で化学工業で同▲42.8%、輸送機械で同▲10.8%、窯業・土石で同▲6.2%、プラスチック製品工業で同▲2.1%、金属製品で同▲2.0%、非鉄金属で同▲1.8%、鉄鋼業で同▲0.3%となった。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数

(令和2年=100)



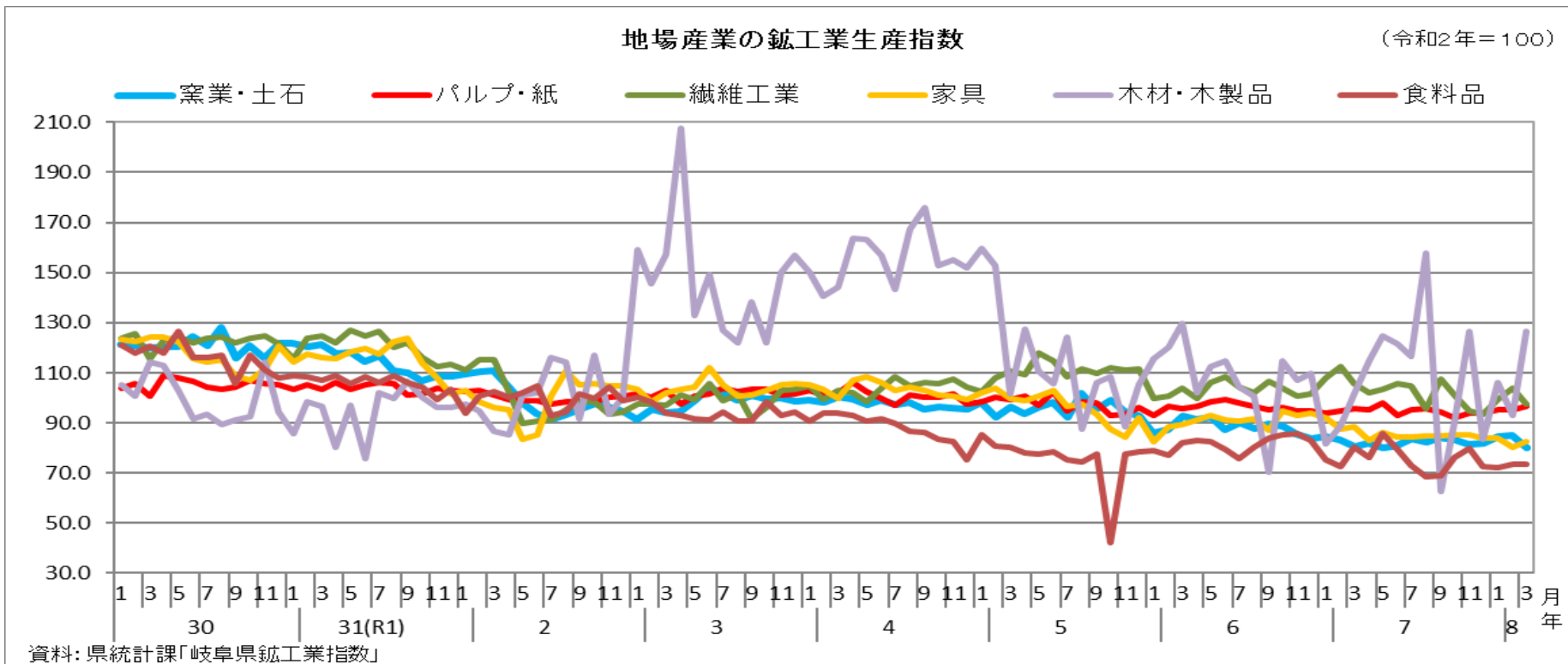
現場の動き

(※中東情勢に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 工作機械部品については、AIの普及に伴うスマホやPC関連機器製造に係る需要が増えている。(輸送用機械)
- ◆ サーチャージ料が高騰しており値上げ交渉をしたいが、輸出先からは逆に値下げ交渉が来る。(輸送用機械)
- ◆ 原油由来のすべての原材料調達に厳しい状況となっており、状況が2、3年継続すると想定して調達を続ける。(輸送用機械)
- ◆ 医療機器関連では、高齢化社会を背景にした医療ニーズの高まりに伴い、得意先から安定的に受注を獲得。(電気機械器具)
- ◆ 中東情勢の影響で大手メーカーの2車種の生産ラインを4工場で停止することになった。(プラスチック製品製造)

製造業-2

○3月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、木材・木製品で前月比35.9%、家具で同2.4%、パルプ・紙で1.3%上昇した一方で、窯業・土石で同▲6.2%、繊維工業で同▲6.1%、食料品で同▲0.1%となった。



現場の動き

(※中東情勢に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 業界の景気は悪くない。注文はあるが、職人不足から製品として出荷するペースが落ちている。(刃物)
- ◆ 副資材の「塗料」の入手に苦労しており、今は生産量の上限にセーブをかけなくてはいけない状況。(木工)
- ◆ 紙加工などを行う先が減っている。代替品を探すが無対応できず取り扱える商品の幅が小さくなっている。(パルプ・紙)

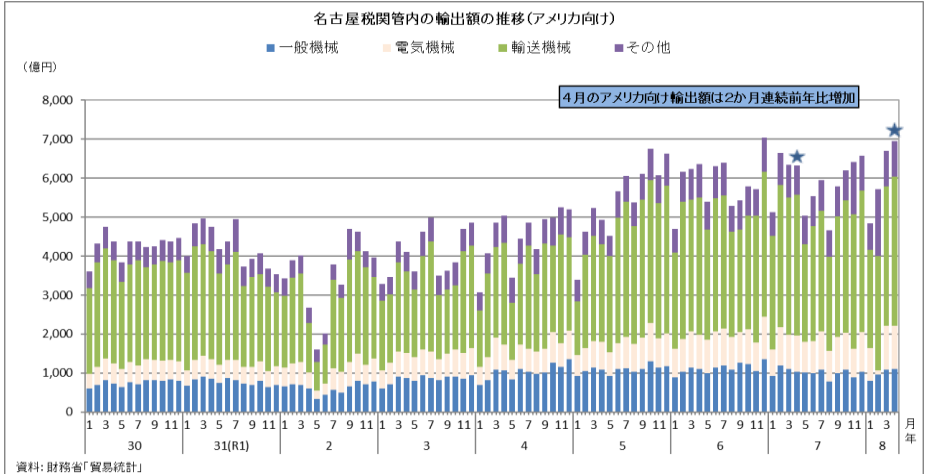
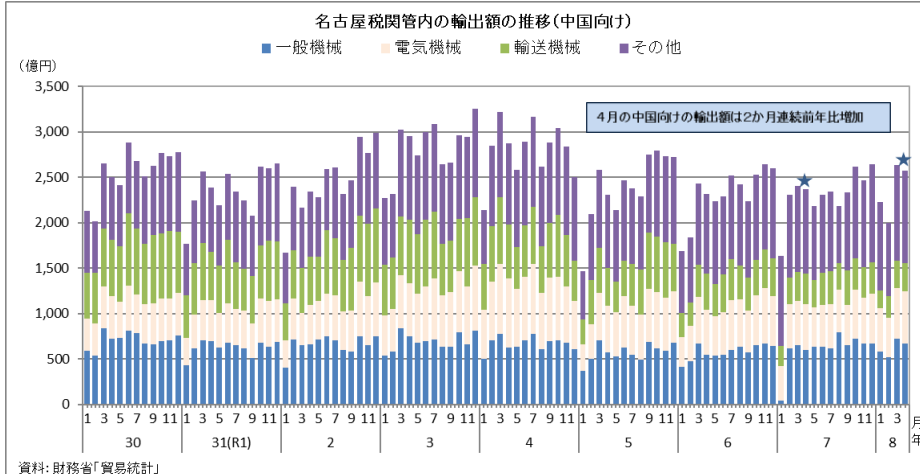
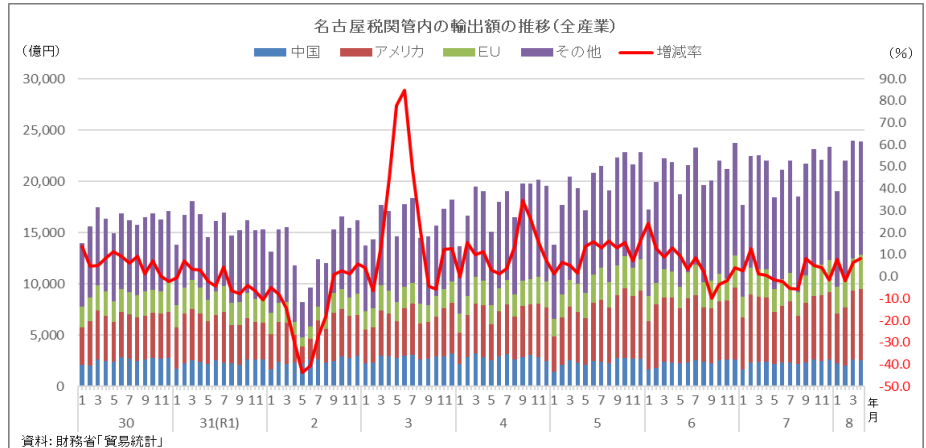
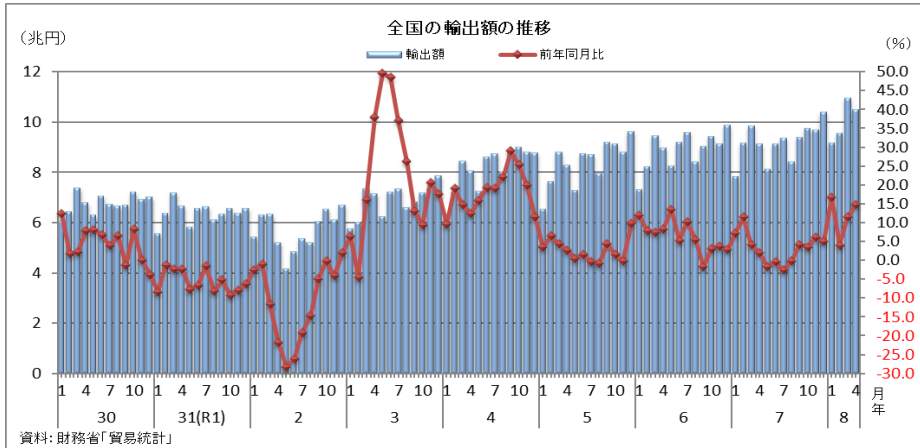
輸 出(名古屋税関管内)

○4月の輸出額(全国)は、10兆5,064億円の前年同月比14.7%増加となった。

○4月の輸出額(名古屋税関内)は、2兆3,846億円の前年同月比8.3%となった。

○中国向けは、全体で前年同月比8.6%となった。その内、電気機械で同15.2%、一般機械で同11.6%、一方で輸送機械で同▲9.1%となった。

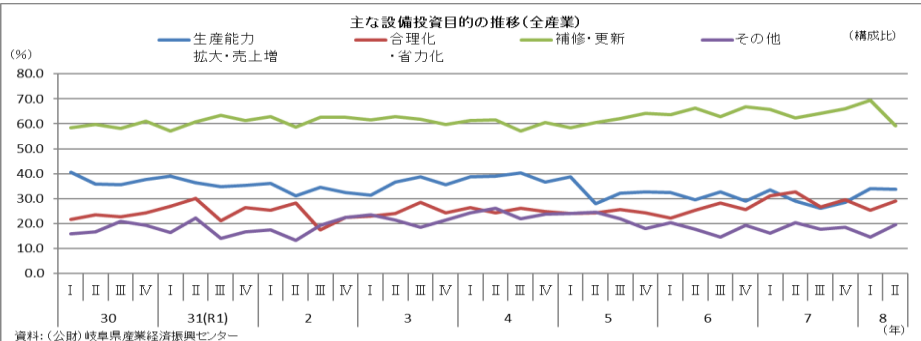
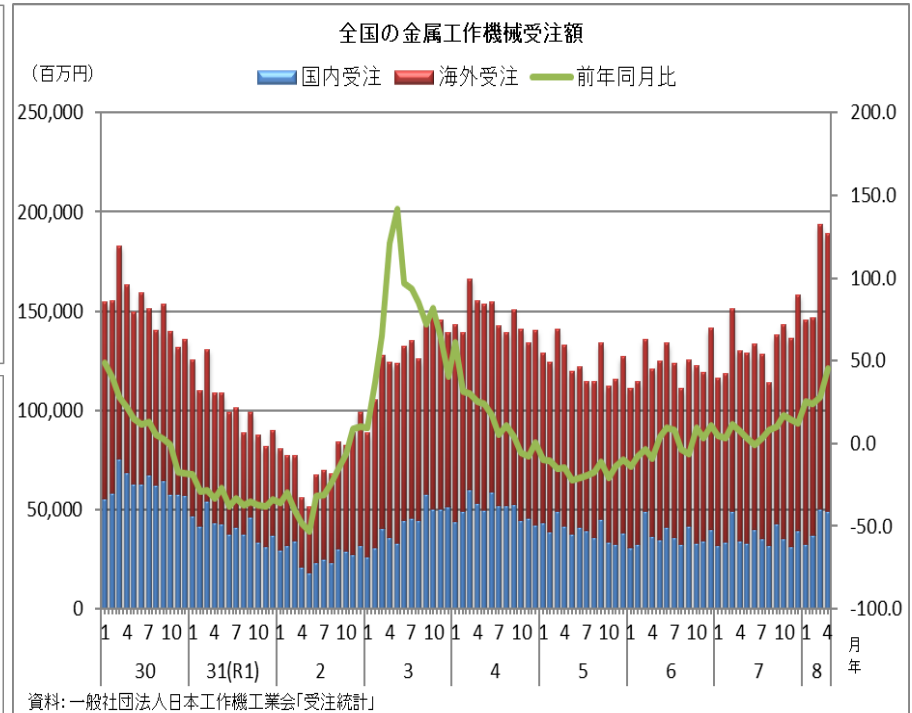
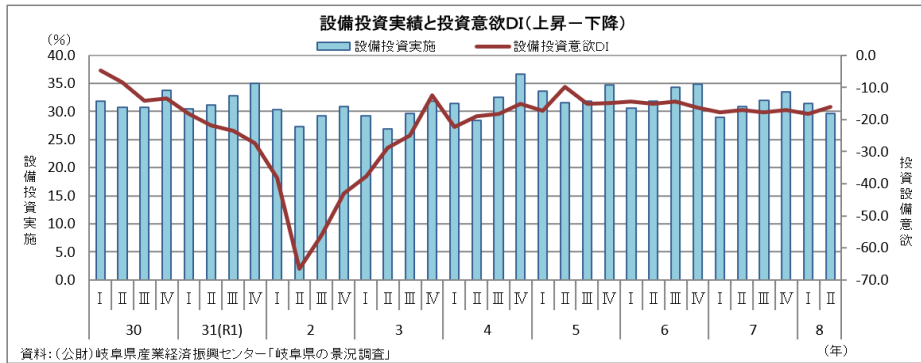
○アメリカ向けは、全体で前年同月比9.8%となった。その内、電気機械で同19.1%、一般機械で同7.9%、輸送機械で同5.4%となった。



設備投資

○4－6月期の設備投資実施見通しは前期比▲1.8ポイント、設備投資意欲DI実績は同2.3ポイント増加となった。設備投資実施見通しの目的別では「生産能力拡大・売上増」で前期比▲0.2ポイント、「補修・更新」で同▲10.2ポイント、「合理化・省力化」で同3.7ポイントとなった。

○4月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比45.1%増加と10ヶ月連続で前年を上回った。内訳は海外受注は同45.8%増加と19ヶ月連続、国内受注は同43.2%増加と4か月連続で前年同月を上回った。



現場の動き

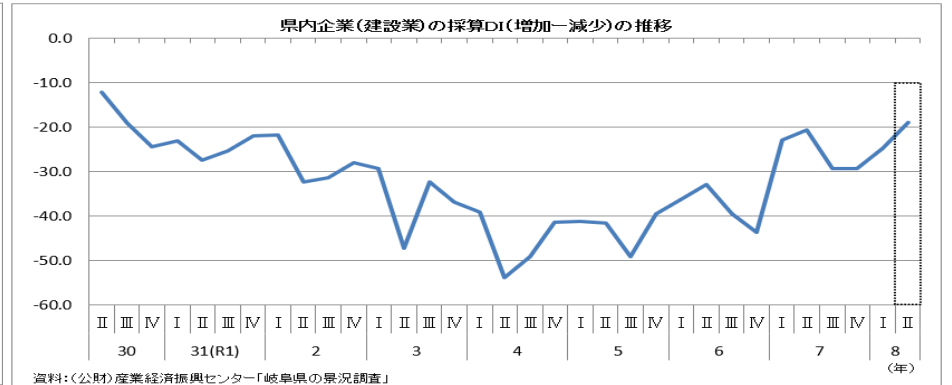
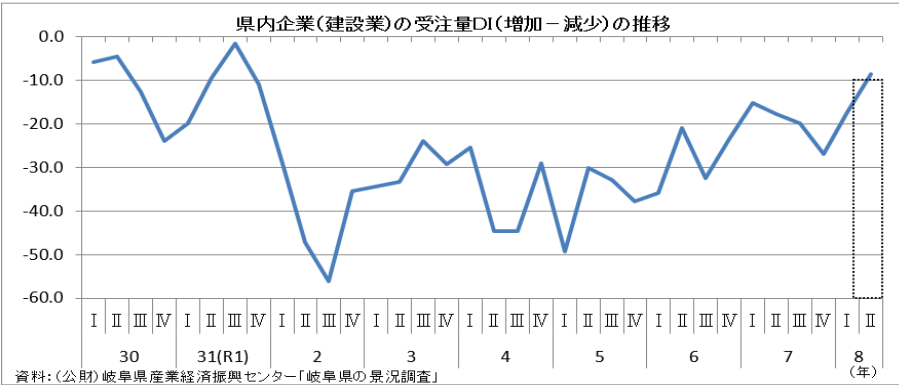
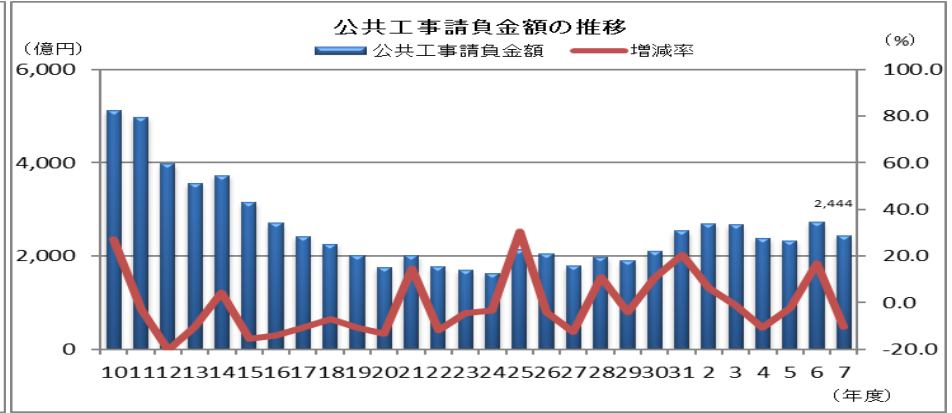
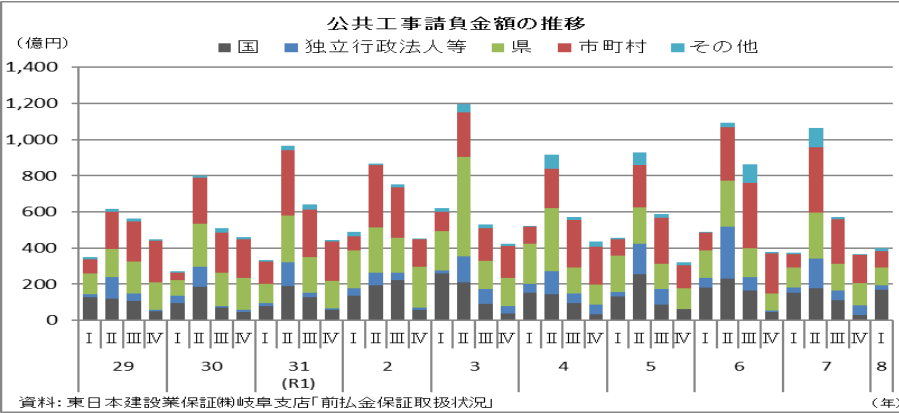
- ◆ 防衛関係部品の設備を拡張する計画があり、県の「ぎふ企業成長投資補助金」の申請をした。(輸送用機械)
- ◆ 部品調達が厳しい状況のため、既存のものを修理し性能を上げていく方向で対応している。(陶磁器)
- ◆ 半導体関連事業は設備投資の需要が高い。(金融機関)
- ◆ 「デジタルサイネージ」を活用した広告・メディア事業への投資を強化している。(コンビニ)

中東情勢に伴う影響について

- ◆ 主要な原材料である鉄(鉄鋼)については、受注元である大手メーカーからの支給によりほとんど影響がない。(輸送用機械)
- ◆ プラスチックを扱っているが、ナフサなどの石油製品が滞ることはなく、影響を受けていない。(電気機械器具)
- ◆ 日々の燃料代上昇は厳しいが、業績に悪影響が出るほど深刻な打撃は受けていない。(生産用機械)
- ◆ 作動油や切削液が出荷停止となっているものもあり、ナフサ由来の梱包資材も品薄になっている。(輸送用機械)
- ◆ 鉄鋼、アルミ関係の関税を含む各種コスト増の影響が今後出てくると思われる。(輸送用機械)
- ◆ 油や刃物といった材料費が日々値上がりしている。鋳物油は代替品で対応しているが、代替品自体も8月以降の納入が読めない状況。(非鉄金属)
- ◆ 材料価格の高騰分に関しては、全ての取引先からの引き上げ率を確認してから価格転嫁に応じる姿勢のためタイムラグが発生している。(プラスチック製品製造)
- ◆ 納入業者からレジ袋の値上げ要請と数量確保が困難であると話があった。テナントの各事業者においても梱包資材の高騰により価格転嫁を検討している店舗がある。(アクティブG)
- ◆ 荷物を包むストレッチ・フィルムの入手が困難。軽油単価が上昇しており、燃料サーチャージの早急な収受交渉を進めていく。(運輸)
- ◆ 配管、断熱材、合板、塗料がないため、工期の遅延が出てくる可能性がある。(木工)
- ◆ ストレッチ・フィルムなどビニール製品について30%程度の値上げを2~3回要請され、製品価格へ約10%程度転嫁する予定。(木工)
- ◆ オイル関係は前年度実績分までは仕入れ可能だが、追加を受け付けてもらえず増産等に支障がでる可能性がある。(木工)
- ◆ アスファルト合材の仕入れコスト上昇に伴う価格転嫁を2,000~3,000円/tせざるを得ない状況のため、売上、利益に影響を及ぼす恐れがある。(建設)
- ◆ ガソリン、軽油共に供給及び価格の不安定さから資材の輸送コストにも大きく影響している。影響は甚大で工事の履行に影響する可能性がある。(建設)

建設工事

- 1-3月期の発注者別の公共工事請負金額は、国で前年同期比10.4%増加した一方で、独立行政法人等で同▲15.9%、県で同▲8.0%、全体で同6.9%となった。
- 県内建設業の4-6月期の受注量DI見通しは前期比8.7ポイント、同採算DI見通しは5.8%上昇となった。



現場の動き

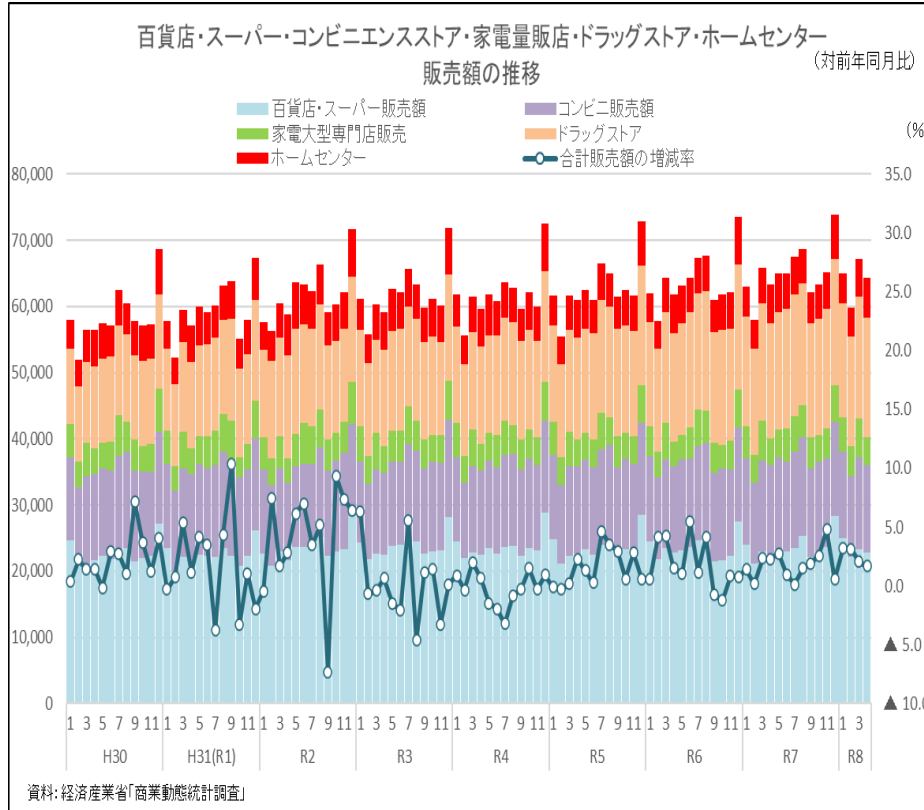
- ◆ 中東情勢により、塩ビパイプ、アスファルト、塗料などの石油由来製品の確保が困難な状況。
- ◆ アスファルト合材の仕入れコスト上昇に伴う価格転嫁を2,000~3,000円/tせざるを得ない状況のため、売上、利益に影響を及ぼす恐れがある。
- ◆ メーカーや仕入先から中長期的な価格見通しが提示されにくい状況で、見積時の価格設定に苦慮している。

(以上、建設)

個人消費(流通・小売)

○4月はホームセンターで前年同月比5.7%、家電大型専門店と同3.7%、ドラッグストアで同3.6%、百貨店・スーパーで同0.5%上昇した一方で、コンビニで同▲1.2%となった。全体では18ヶ月連続となる1.7%の上昇となった。

○4月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比16.3%となった。軽自動車では同▲10.7%となった。合算では同7.2%と2か月ぶりに前年同月比を上回った。



現場の動き

- ◆ 単月では売上が4月の歴代4位、客数は4月の歴代最高を更新。5月も好調を維持し、売上・客数共に5月の歴代過去最高記録を更新予定。
- ◆ ホームライフ含め客数が多い飲食・食物販の単価上昇により全体客単価は前年よりプラスに転じた。

(以上、県内商業施設)

個人消費(流通・小売)ー2

○4-6月期の売上高DI見通しは、飲食店で前期比20.0%、サービス業(余暇関連)で同6.7ポイント上昇、小売業で同▲9.9ポイントとなった。

○同じく販売価格DI実績は、小売業で前期比▲3.3%、飲食店で同▲13.4ポイント、サービス業(余暇関連)で同▲6.7ポイントとなった。

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移

— 小売業 — サービス業(余暇関連) - - - 飲食店

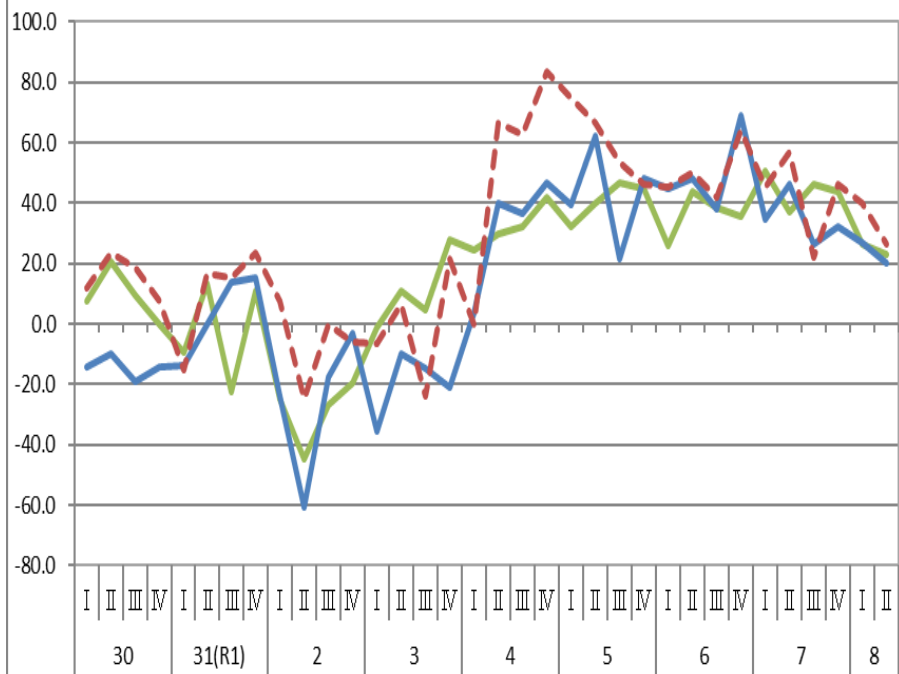


資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

県内企業の製品販売価格DI(上昇-下降)の推移

— 小売業 — サービス業(余暇関連) - - - 飲食店



資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

現場の動き

◆ レジバッグ、ナイロン袋、ビニール手袋など入荷しないものがあり、注文通り納品できず売上減少。

(大垣市商店街)

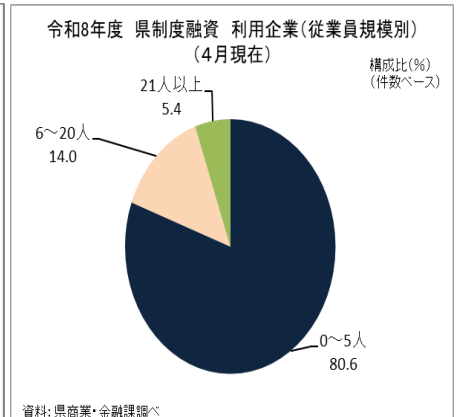
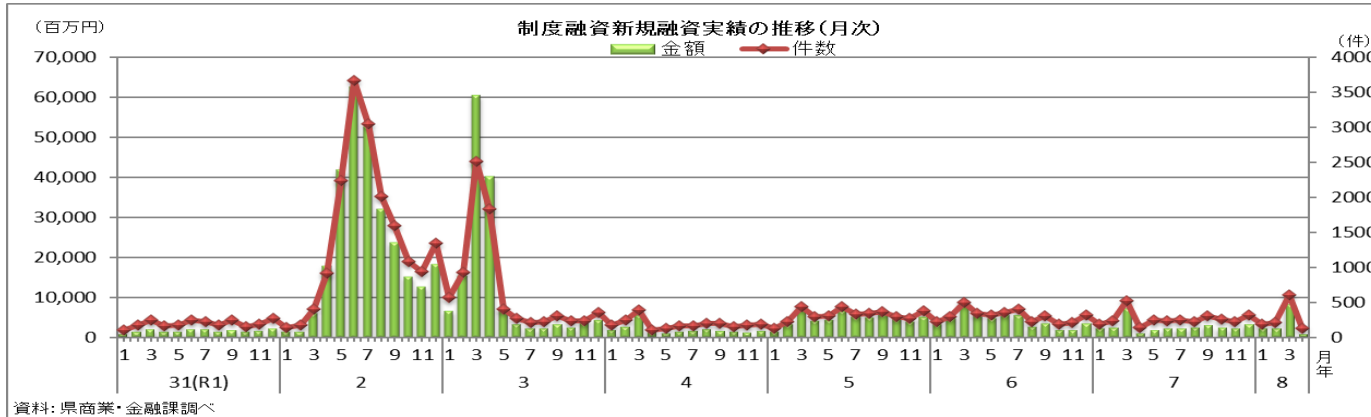
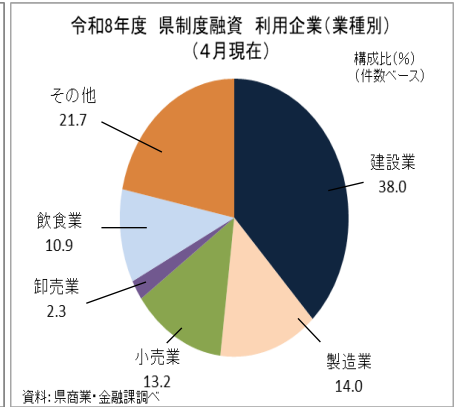
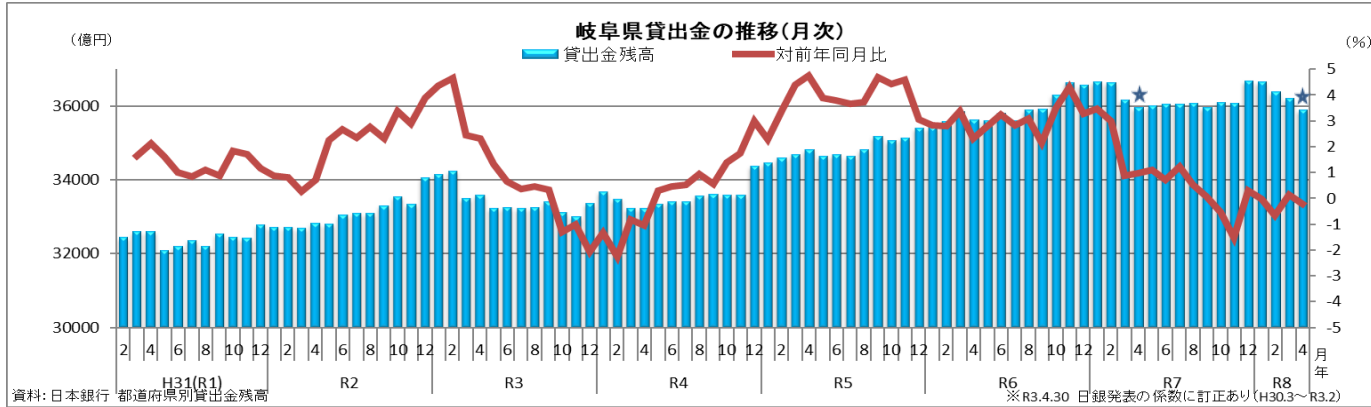
◆ 商品単価が上がったため売上は増加したが、中国からのインバウンド減少のため微増にとどまる。(高山商店街)

資金繰り

○4月の岐阜県貸出金残高は、3兆5,907億円で前年同月比▲0.2%となった。

○4月の制度融資実績は、金額が846百万円で前年同月比▲6.5%、件数は129件で同▲10.4%となった。

○制度融資利用企業の従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の80.6%を占めている。



現場の動き

- ◆ 中東情勢の影響で、原材料の仕入れが今後難しくなることを懸念し、前倒しで運転資金を借りる動きがある。
 - ◆ 融資先の事業者は輸入事業者が多く、円安が続いているため仕入れコストが上がり苦しい状態が続いている。
 - ◆ 中東情勢の影響により相談窓口を設置したが、相談件数はほとんどない。相談内容については今後の仕入れについて危惧するものが多く、資金繰りに関するものは少ない。
- (以上、金融機関)

資金繰り-2

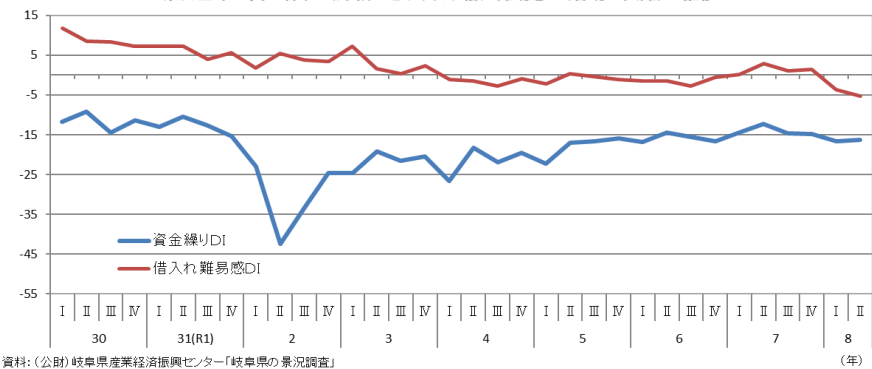
○4-6月期の資金繰りDI見通しは▲16.3で、前期比0.3ポイントとなった。同借入難易感DI見通しは▲5.3で、前期比▲1.6ポイントとなった。

○1-3月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比▲22.4%、返済ゆったり資金では同▲24.8%、元気企業育成資金で同▲3.0%減少となった。

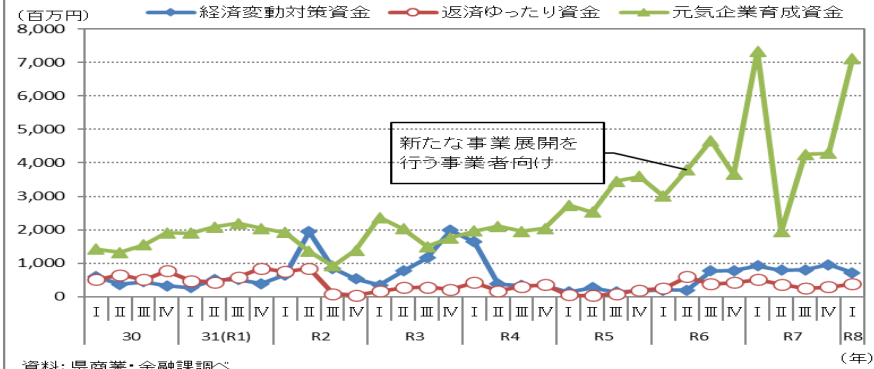
○4月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が2件で前年同月比▲60.0%、金額37百万円で同▲75.2%となった。

○4月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は78件で前年同月比20.0%、金額は846百万円で同62.5%増加となった。

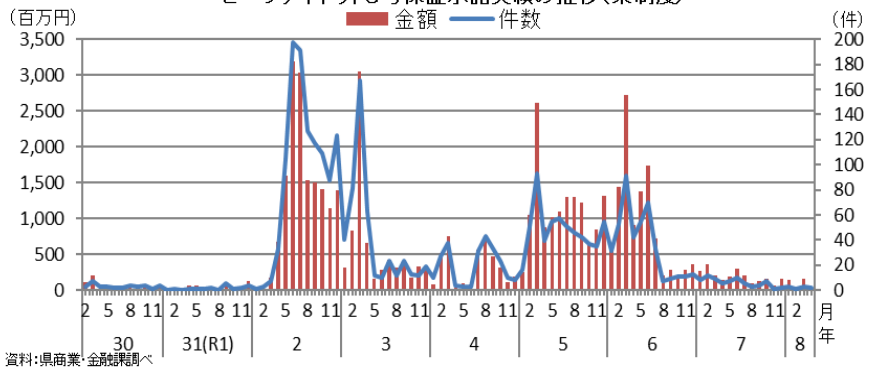
県内企業の資金繰りDI(好転-悪化)及び借入難易感DI(容易-困難)の推移



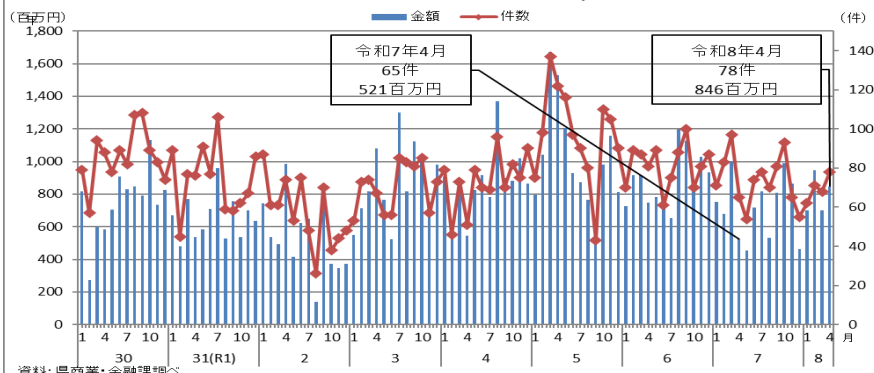
主要資金別新規制度融資実績の推移



セーフティネット5号保証承諾実績の推移(県制度)

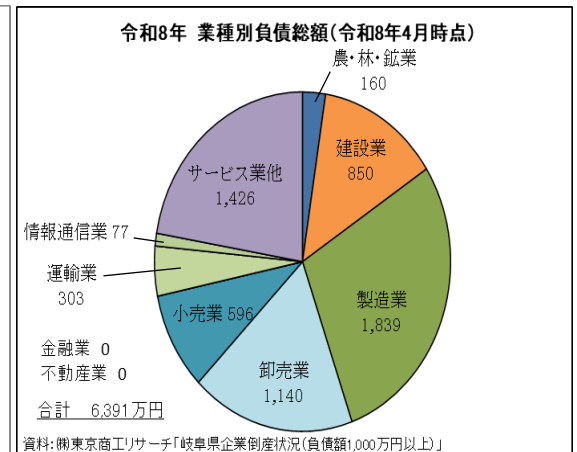
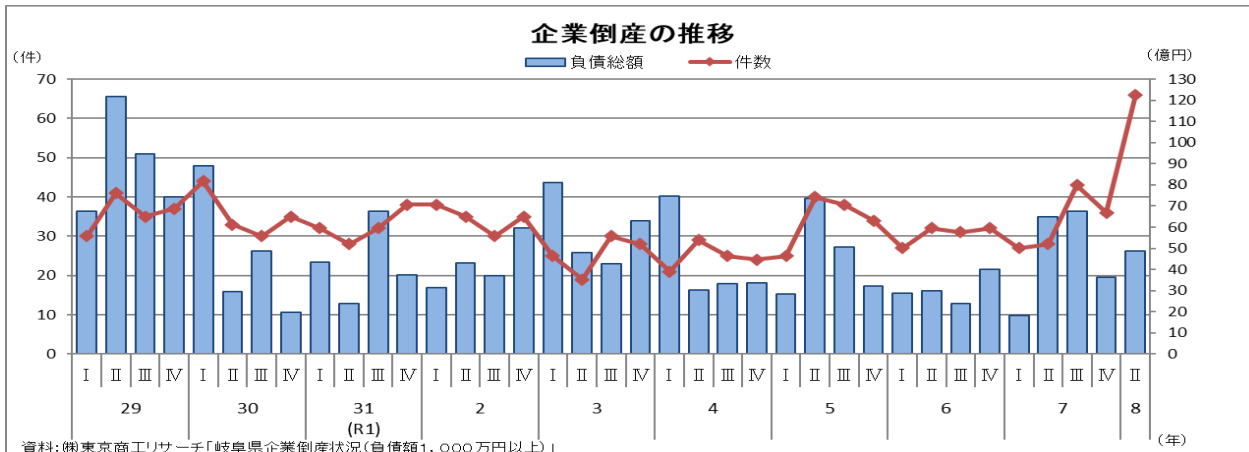
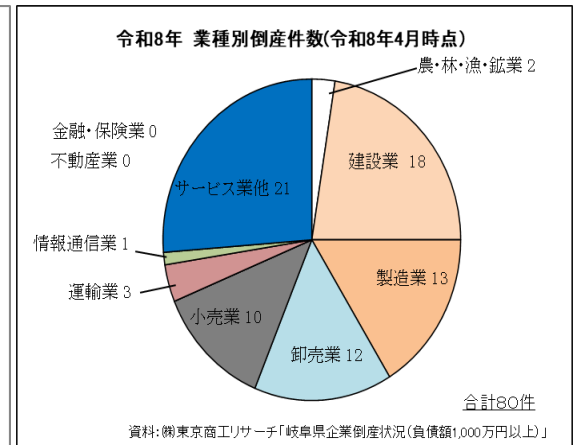
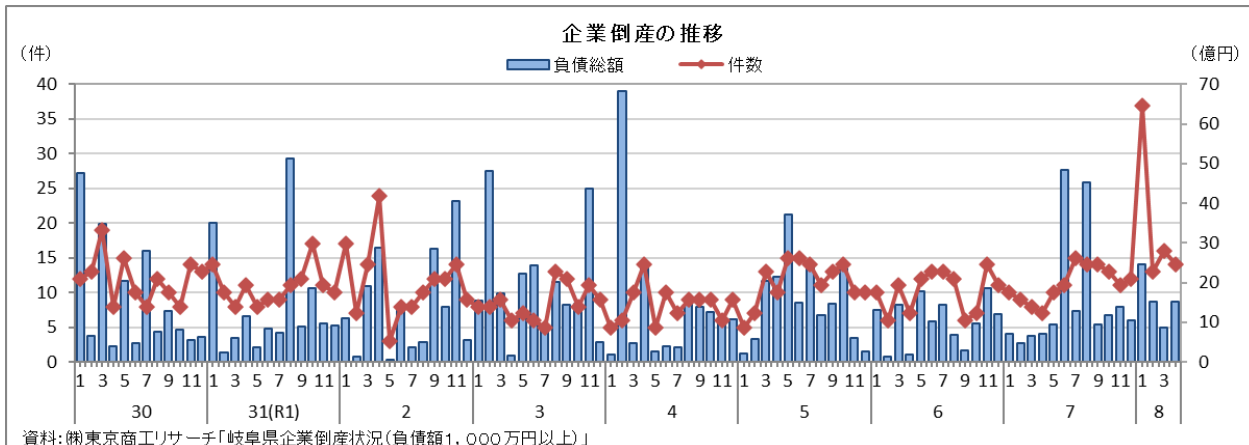


県信用保証協会 事故報告受付状況(毎月)



倒産

○4月単月の倒産件数は14件、負債総額は前月比659百万円上昇し1,525百万円となった。
 ○令和7年4月は負債総額3億円以上の倒産が1件発生したのに対して、令和8年4月は同倒産2件となった。負債総額は前年同月を828百万円上回った。



専門機関の分析(東京商工リサーチ・5月20日時点)

◆中東情勢の緊迫が続く中で原油やナフサの安定供給が懸念されており、値上げや供給制限などから在庫が大幅に減少し、業況が厳しくなっている企業も出始めている。過剰債務の解消が進まず業績回復が遅れた企業は多く、これに中東情勢による影響が加わり先行き不透明感は一段と強まっている。

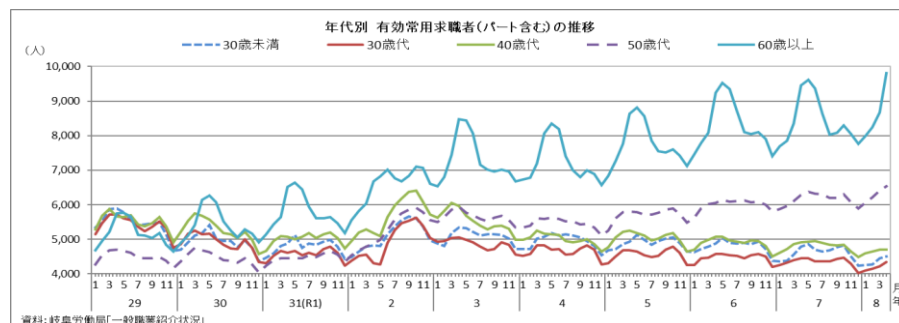
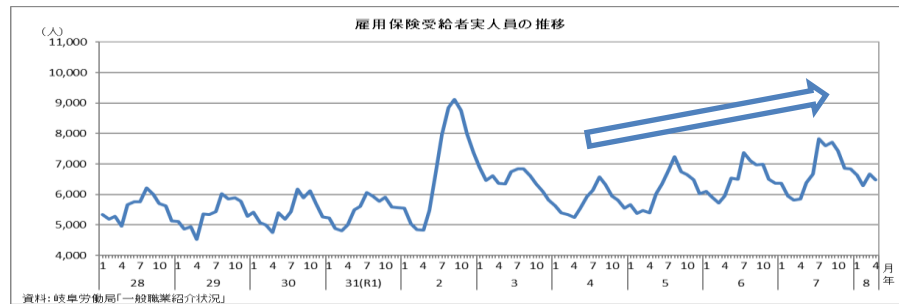
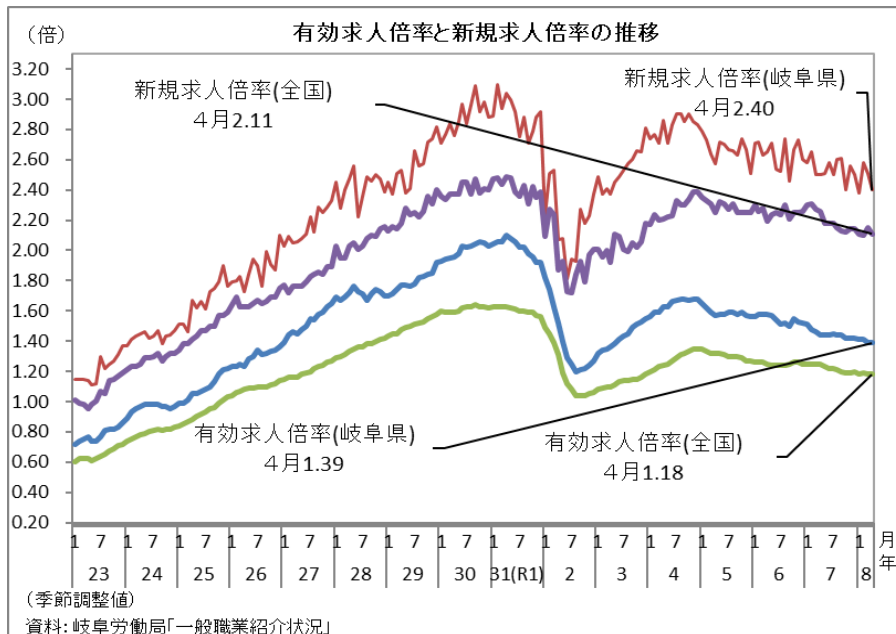
雇用

○4月の有効求人倍率は1.39倍と、前月比横ばいとなった。

○4月の新規求人倍率は2.40倍と、前月比▲0.11ポイントとなった。

○4月の雇用保険受給者人員は、前年同月比10.5%と増加している。

○有効常用求職者は、50歳代では38ヶ月連続で上昇、60歳代では8ヶ月連続で上昇した。



現場の動き

- ◆ 今後も県のジンサポ(プロフェッショナル人材)を活用し技術者の募集は続けていくが、作業者については市場に求職者が増え充足したため募集の予定はない。(輸送用機械)
- ◆ 技術承継のために正社員の割合を増加している。ハローワークから多くの紹介があり順調に採用が進んでいる。(プラスチック製品製造)
- ◆ 募集しても人が集まらず、外国実習生の採用を進めている。(刃物)
- ◆ 応募者からは働き方の待遇面に対する関心が高く、企業として柔軟な対応が求められる。(建設)
- ◆ 残業規制や働き方改革からドライバー従業員は不足気味で、高等学校卒業者の雇用も困難な状況。(運輸業)

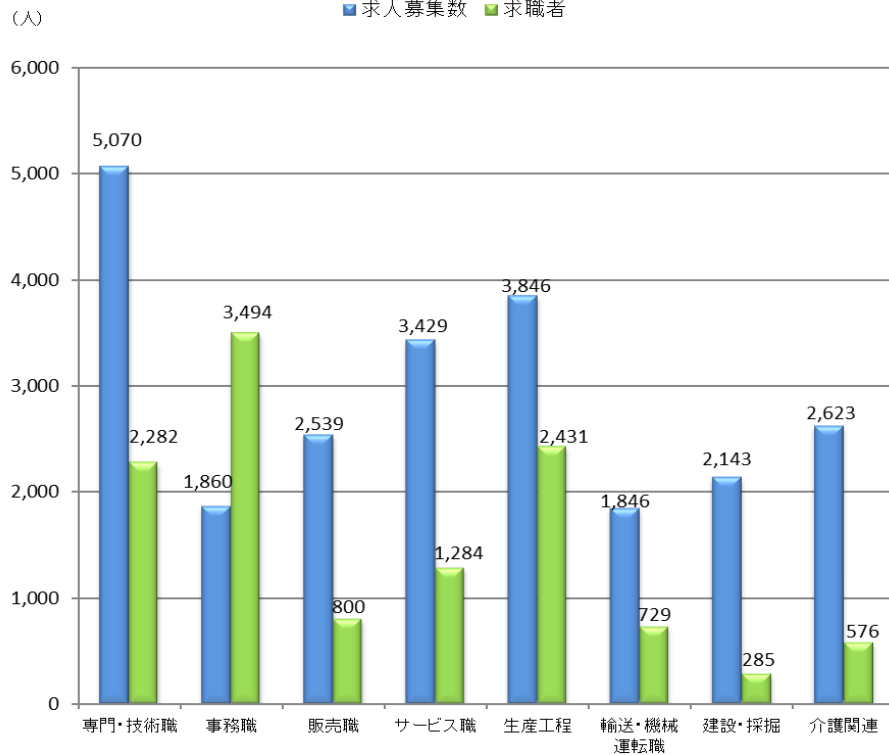
雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で7.52倍、介護関連で4.55倍、販売職で3.17倍、サービス職で2.67倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.53倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

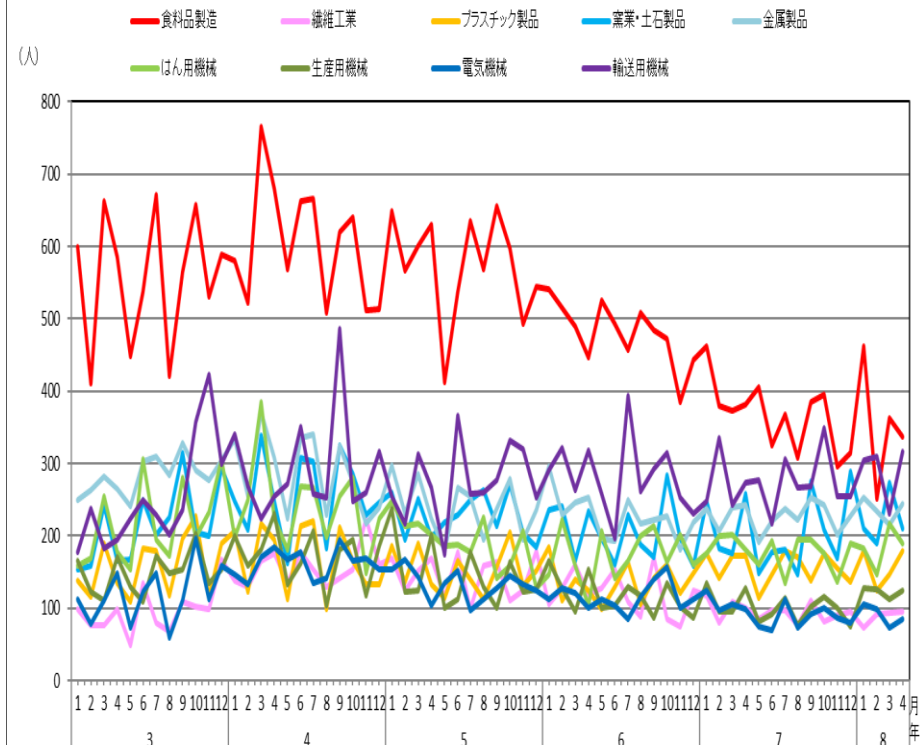
○4月の主要産業別の新規求人数は、輸送用機械前年同月比で16.1%、はん用で同5.0%、プラスチック製品で同4.1%、金属製品で同0.8%増加した一方で、窯業・土石で同▲18.6%、電気機械で同▲14.1%、食料品製造で同▲11.8%、繊維工業で同▲5.9%、生産用機械で同▲1.6%となった。

4月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



資料: 岐阜労働局「求人・求職」バランスシート

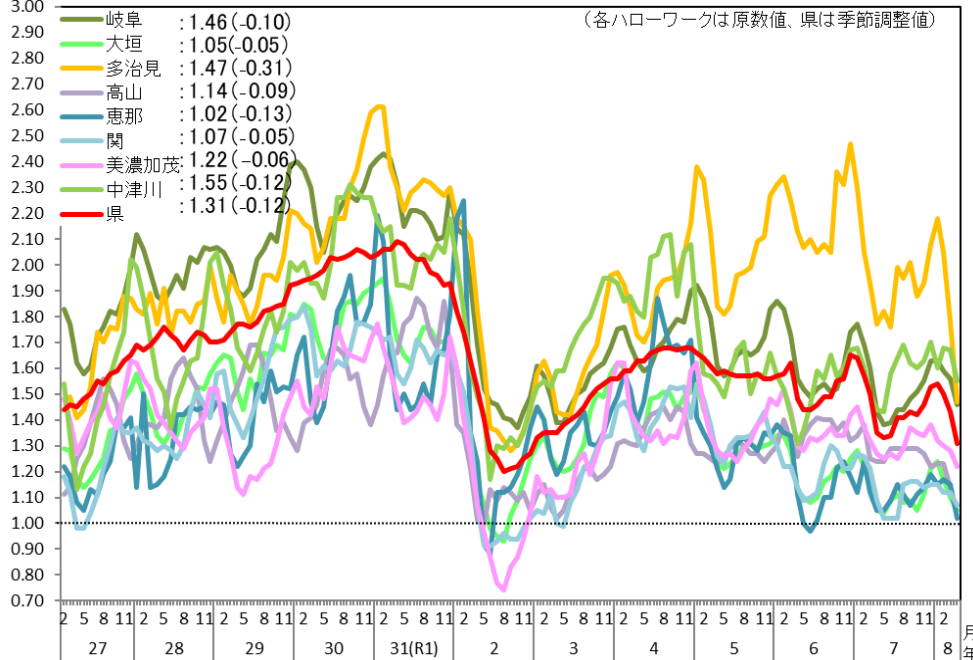
主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇用(地域別)

主なハローワーク別の有効求人倍率



注1: 大垣所分は揖斐出張所分を含む 注2: 平成21年4月以降の関所分は岐阜八幡出張所を含む
資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

○4月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、岐阜、大垣、多治見、高山、恵那、関、美濃加茂、中津川で前月比減少となった。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆ 求人者数は減少、求職者数も減少。
- ◆ 雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク大垣>

- ◆ 求人者数は減少、求職者数はやや増加。
- ◆ 雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク多治見>

- ◆ 求人者数は増加、求職者数は横ばい。
- ◆ 雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク高山>

- ◆ 求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆ 雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク恵那>

- ◆ 求人者数は減少、求職者数は増加。
- ◆ 雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク関>

- ◆ 求人者数は増加、求職者数は増加。
- ◆ 雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆ 求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆ 雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク中津川>

- ◆ 求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆ 雇用保険受給者数は減少。

<窓口の様子>※前月比

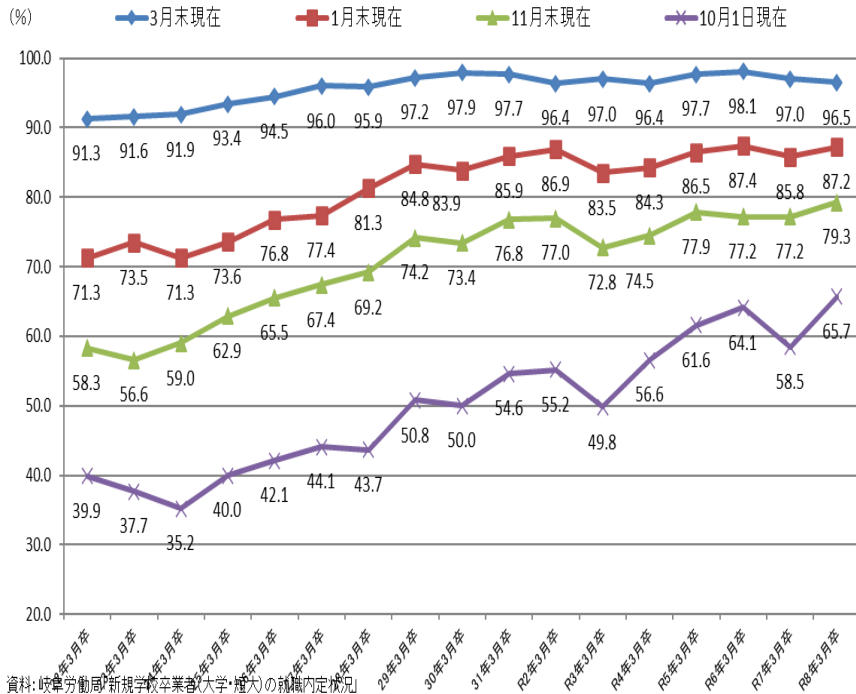
- ◆ 岐阜、大垣、多治見、恵那、中津川で混雑、関でやや混雑している、美濃加茂で同じくらい、揖斐でやや空いている、高山で空いている状況。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

○岐阜県の令和8年3月末現在の大学・短大卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は、96.5%であり、前年同時点と比べ▲0.5ポイント減少となった。

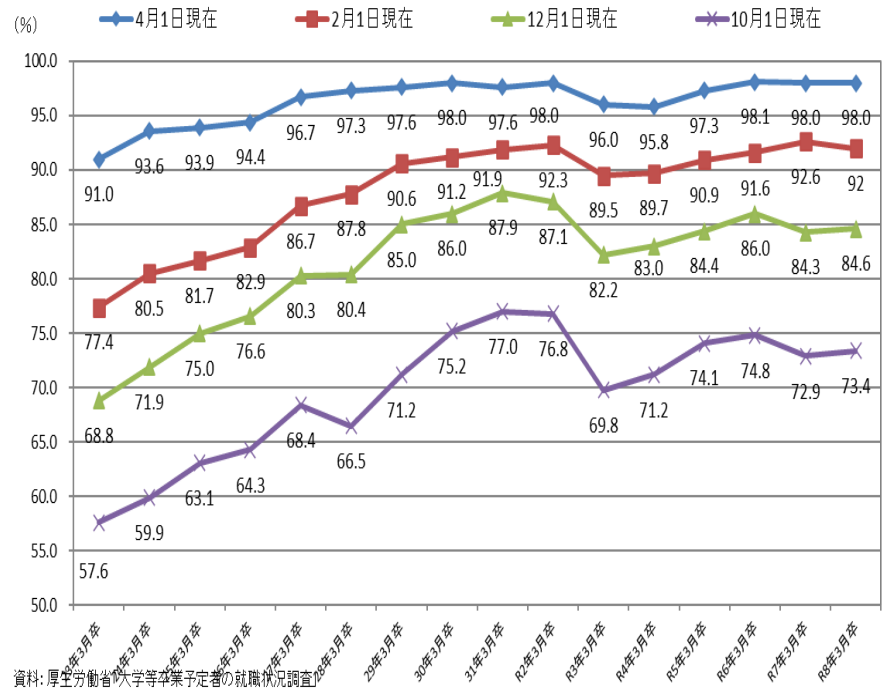
○全国の令和8年4月1日現在の大学卒業者(令和8年3月卒業)内定率は98.0%であり、前年同時点と同率となった。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料:岐阜労働局「新規学校卒業者(大学・短大)の就職内定状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料:厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

現場の動き(2026卒、2027卒の動きなど)

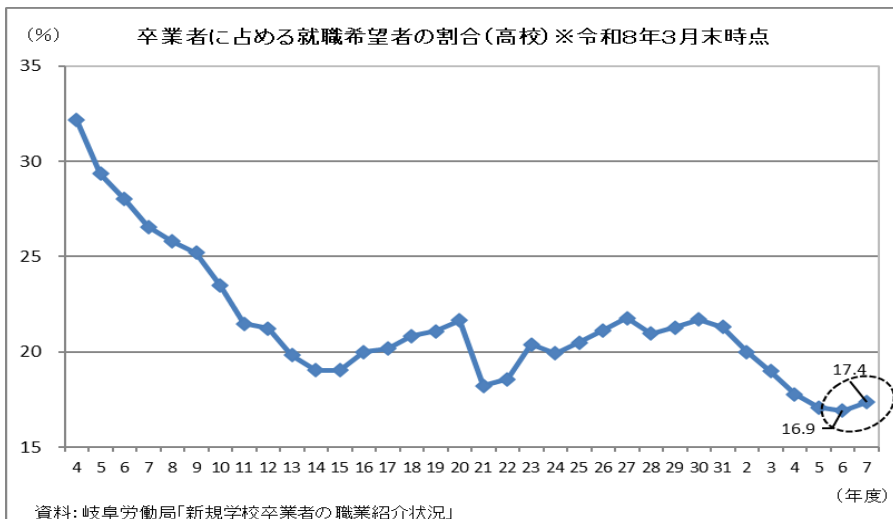
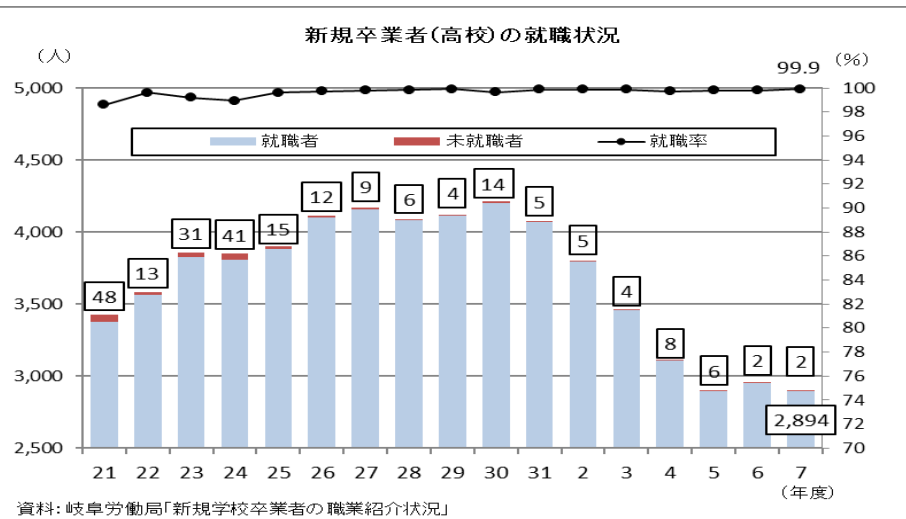
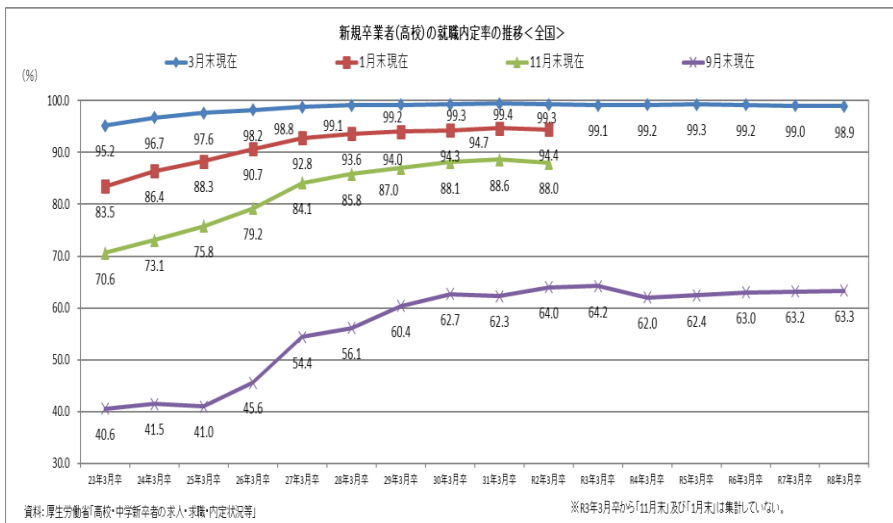
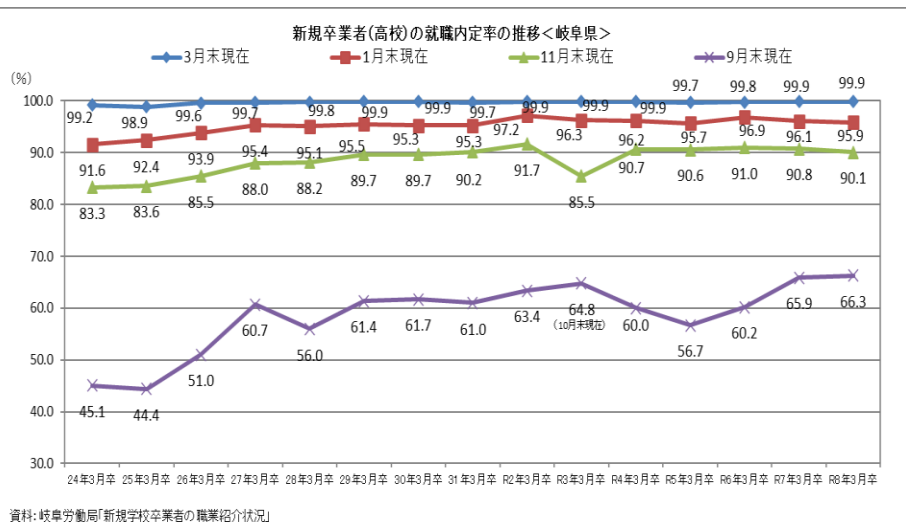
<大学へのヒアリング>

- ◆ 岐阜県を就職先として内定をもらっている学生は現時点で59%。地元就職に力を入れているため、この数値を8割に近づけていきたい。
- ◆ 27卒の就職先決定率は50%、昨年は30%と内定の早期化が激しい。(以上、岐阜・愛知県内大学)

雇 用(高校新卒者の就職)

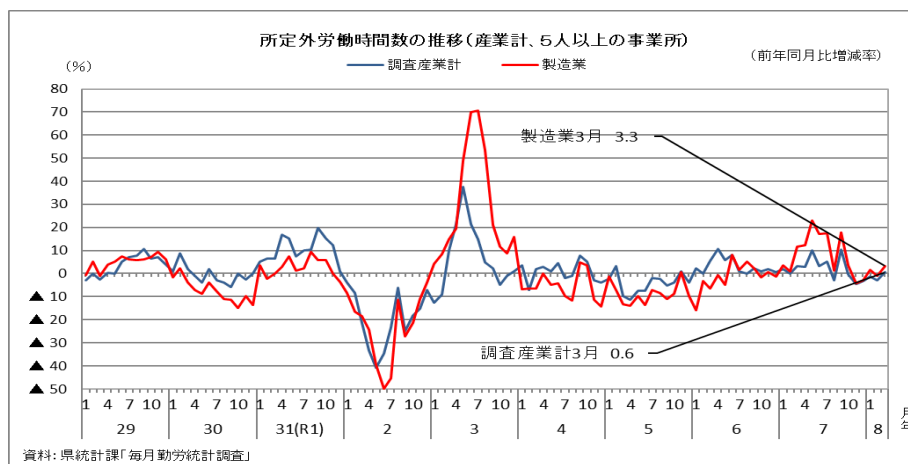
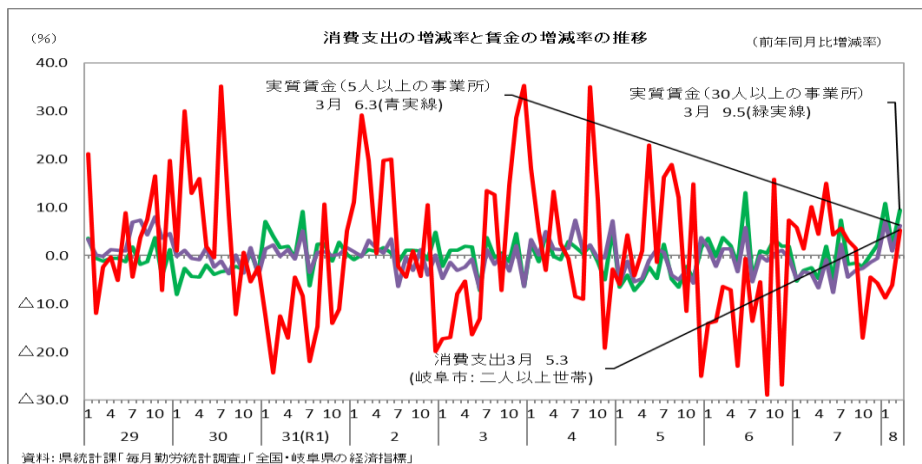
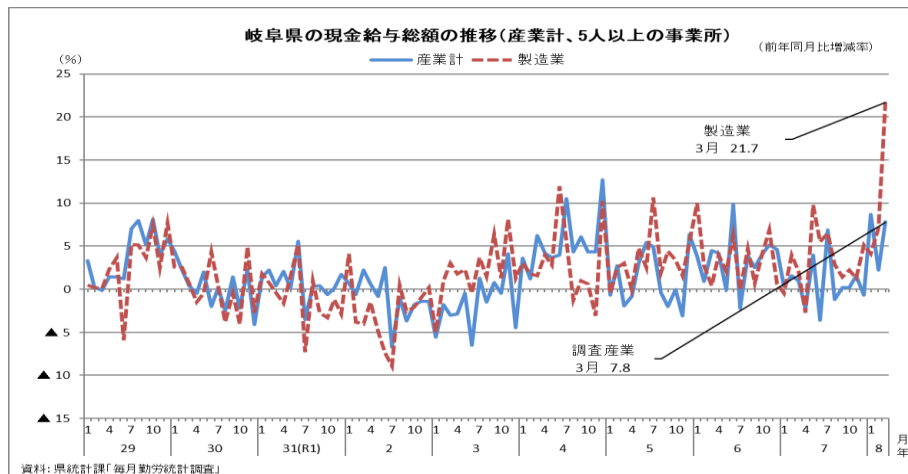
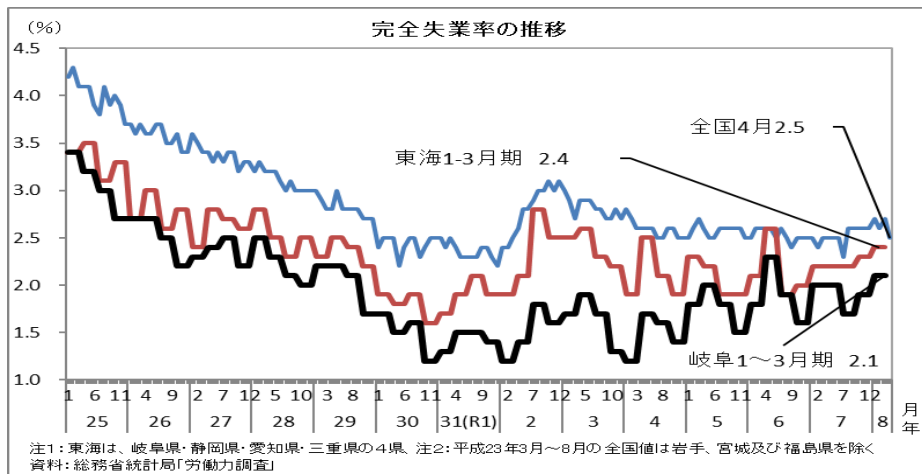
○岐阜県の令和8年3月末現在の高校卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は99.9%であり、前年同時点と同率となった。

○全国の令和8年3月末時点の高校卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は98.9%であり、前年同時点と比べ▲0.1ポイント減少した。



雇 用(完全失業率等)

- 全国の4月の完全失業率は2.5%で前月比▲0.2%となった。岐阜県の1-3月期の平均は2.1%で前期比0.2%の増加となった。
- 3月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比7.8%、製造業で同21.7%増加となった。
- 3月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比9.5%増加、5人以上で6.3%となった。3月の消費支出については同5.3%となった。
- 3月の所定外労働時間数は前年同月比で0.6%となった。



<経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、3月の鉱工業生産指数は前月比▲8.9%となった。ヒアリングでは、工作機械部品については、AIの普及に伴うスマホやPC関連機器製造に係る需要が増えているとの声がある一方、中東情勢の影響で大手メーカーの2車種の生産ラインを4工場で停止することになったとの声も聞かれた。
- 地場産業は、3月の鉱工業生産指数は窯業・土石、繊維工業、食料品で下降した。ヒアリングでは、業界の景気は悪くなく注文はあるが、職人不足から製品として出荷するペースが落ちているといった声や、副資材の「塗料」の入手に苦労しており、今は生産量の上限にセーブをかけなくてはいけない状況といった声が聞かれた。
- 設備投資は、4月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比45.1%増加となった。ヒアリングでは、防衛関係部品の設備を拡張する計画があり、県の「ぎふ企業成長投資補助金」の申請をしたといった声がある一方、部品調達が厳しい状況のため、既存のものを修理し性能を上げていく方向で対応しているといった声が聞かれた。
- 個人消費は、4月の販売額は、全体で前年同月比1.7%増加となった。ヒアリングでは、4月単月では売上が歴代4位、客数は歴代最高を更新。5月も好調を維持し、売上・客数共に5月の歴代過去最高記録を更新予定といった声や、ホームライフ含め客数が多い飲食・食物販の単価上昇により全体客単価は前年よりプラスに転じたといった声もあった。
- 観光は、宿泊者数は前年同月と比較しプラスとなるなど、回復傾向にあり、コロナ前の約9割まで戻ってきている。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。
- 企業の資金繰りは、4月の制度融資実績は前年同月比▲6.5%となった。融資先の事業者は輸入事業者が多く、円安が続いているため仕入れコストが上がり苦しい状態が続いているといった声や、中東情勢の影響により相談窓口を設置したが、相談件数はほとんどない状況で、相談内容については今後の仕入れについて危惧するものが多く、資金繰りに関するものは少ないとの声が聞かれた。
- 雇用面は、4月の有効求人倍率は1.39倍と前月比横ばいとなった。ヒアリングでは、今後も県のジンサポ（プロフェッショナル人材）を活用し、技術者の募集は続けていくが、作業員（レベル）については自動車部品の打ち切りや生産減等で市場に求職者が増え充足したため募集の予定はないといった声もある一方、募集しても人が集まらず、外国実習生の採用を進めているといった声もあった。